

# 至学館大学

2026年度 第3年次編入学者選抜試験

健康スポーツ科学科 小論文 出題意図

## 問題1

- 日本の現代社会はスポーツをどのように捉えているのかを端的に述べているか。
  - ・ 健康の維持・増進（生活習慣病の予防や高齢化社会による健康寿命の延伸）
  - ・ 教育的価値（人間形成に重要な要素：協調性、努力、忍耐、フェアプレイ）
  - ・ 地域社会の活性化（生涯スポーツ、地域スポーツクラブによるコミュニティづくり）
  - ・ 経済効果（プロスポーツやスポーツ観光、スポーツ用品産業などの経済）
  - ・ 国際交流・平和の象徴（オリンピック、パラリンピック、ワールドカップ、アジア大会を通じた文化理解と国際親善）
- 日本の現代社会が抱えるスポーツの課題が所定の分量で的確に述べているか。
  - ・ 勝利至上主義・指導者のパワハラ、体罰
  - ・ 部活動の長時間化と教員の働き方改革
  - ・ 障害者・女性・高齢者へのスポーツの機会格差
  - ・ 都市部と地方のスポーツ環境格差
- 課題を自ら分析し、自分の考えを述べているか。

スポーツは現代社会の中心となるもの。

健康づくり・地域づくり・人づくりをし、重要な社会資源として大きな役割を果たしている。

## 問題2

文章読解に必要な基礎学力および本学科を目指す志の強度を把握するための問題である。また、これらを決められた時間内および字数内でまとめ、論理的に表現する能力を総合的にみる問題である。

# 至学館大学

2026年度 第3年次編入学者選抜試験

## こども健康・教育学科 小論文 出題意図

本小論文課題では短い論説を読み、内容を適切に読み取る読解力と、与えられたテーマについて、適切な文章表現を用いて自身の考えを論理的に述べる論述力を問うことを目的とした。

問題1では、文脈に沿って内容を適切に読み取れているかを問うた。

問題2では、不登校という子どもの問題を解決するためにはどのような方策が考えられるかについて根拠に基づいて論理的に説明できるかという論述力と、適切な語や表現を用いることができるかという文章表現力を問うた。

# 至学館大学

2026年度 第3年次編入学者選抜試験

## 体育科学科 小論文 出題意図

### 1. 体育科学科 アドミッション・ポリシー

体育科学科は、『健康の保持・増進を基礎とし、青少年期を中心とした競技スポーツ活動を安全で科学的にサポートするための指導者として豊かな人間性と高度な専門知識と実践力を身につけ、人々の健康実現に寄与できる人間力の育成』を教育目標としている。そのため、これらの教育目標を理解し、強い目的意識のもとに主体的に学び、次のような志のある人を求めている。

- ①競技スポーツ活動に関心をもち、安全で科学的に競技力の向上を図るための専門的な知識と実践力を身につけた人間力豊かなアスリートや指導者を目指す人。
- ②競技スポーツ選手の身体ケアやコンディショニング等に関心を持ち、スポーツ選手をサポートするための専門的な知識と技能を身につけた人間力豊かな指導者を目指す人。
- ③学校体育に関心をもち、子どもたちの体育・スポーツ活動を安全・安心に指導するための専門的な知識と実践力を身につけた人間力豊かな指導者を目指す人。

### 2. 出題意図

#### 問題1

今回の小論文の出題は、志願者が本学科のアドミッション・ポリシー（AP）の①から③すべてにあてはまる人物かどうかを判断することに、そのねらいがある。

近年、学校部活動における勝利至上主義に起因する指導者のパワーハラスメント問題が頻発しており、スポーツ界の指導の倫理が問われている。本課題は、日本の部活動文化の象徴である全国大会システムの必要性を根本から再考させることで、志願者のスポーツコーチング論に関する深い理解と、倫理的な問題解決能力を測る。

#### ◆評価のポイントとAPとの関連性

##### (1) スポーツに関する課題関心と専門性の統合（AP①, ②, ③）

志願者が現在のわが国のスポーツ指導の基盤となる部活動の課題について、広く関心を持っているかを問う。その際、単なる一般論ではなく、「勝利至上主義」「パワーハラスメント」の功罪分析に加え、選手の発達段階やバーンアウト、インテグリティ、LTAD（長期育成計画）といったスポーツコーチングの専門用語と概念を理解し、活用できるかを評価する。これは、安全で科学的な指導力（AP①, ②）の基盤となる。

##### (2) 多様な意見の整理と論理的展開能力（AP①, ③）

出題テーマに関する全国大会の「功」と「罪」という多様な意見を整理・検討し、その構造的な問題を柔軟かつ論理的に説明できるかを問う。その上で、スポーツの教育的価値との関連性に言及しながら、自身の見解と具体的な代替案を自らの言葉で的確に表現し、展開する能力を評価する。これは、健全な教育指導（AP③）と、競技力向上における人間力（AP①）を兼ね備えるために不可欠な要素である。

#### 問題2

現代社会において、データに基づいて物事を考え、判断する力は不可欠である。特に、データを単なる数字として捉えるのではなく、社会的な背景や文脈の中で理解する能力が求められる。本問題では、運動部離れという現代的課題や、生徒の権利と部活動のあり方といった社会問題について、資料に基づいて客観的に理解し、そしてさまざまな視点から考察し、自分の体験を踏まえて、自分の言葉で表現する力を身につけているかを評価する。